

1 本校の教育

教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和がとれ、豊かな感性と想像力あふれた自立した人間の育成を目指して、以下の教育目標を設定する。

自ら考え、自ら学ぶ人 感性あふれる、心豊かな人 心身を鍛え、たくましく生きる人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

目指す生徒像を「勤勉な生徒」「ルールを守り礼儀正しい生徒」「他者を思いやる生徒」「夢を育む生徒」とし、学校の教育目標の具現化を図る。

- ① 各教科等の目標・内容及び評価規準を分かりやすく示すとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題解決のための思考力・判断力・表現力等の能力を高めるため、体験的な学習や言語活動の充実、個に応じた指導の充実を図る。
- ② 各教科、道徳・総合的な学習の時間及特別活動の関連を重視し、知・徳・体の調和のとれた教育を推進するとともに、自主・自立及び規範意識を育む指導の充実を図る。
- ③ 各教科の学習方法を記した「学習のすすめ」を活用するなど、自ら考え、学び続ける意欲と態度の育成を図り、生涯学習への基礎・基盤づくりに努める。
- ④ 学校の全教育活動をとおして豊かな人間性を育み、生命や人権を尊重する心を養い、心身ともに健康な生徒を育てる。
- ⑤ 我が国や自分たちの生活する地域に根ざした文化や伝統への興味や関心を高め、理解を深めるとともに、異文化理解の指導に努め国際社会に生きる日本人として、必要な資質、能力、態度の育成を図る。
- ⑥ 学校と家庭・地域との相互理解と信頼を深め、生徒のボランティア活動を推進し、地域の一員としての意識を持たせるとともに、地域を生徒の学び場として積極的に活用する。
- ⑦ 特別支援教育コーディネーターを中心に、教育相談推進委員会を設置し、スクールカウンセラーとの連携を深め、個別指導計画・個別の教育支援計画等を作成し、個に応じた組織的、計画的な指導を行う。
- ⑧ 中一ギャップの解決に向け、同地域の千寿常東小学校、千寿第八小学校との交流を深め、授業研究・連携に関する研修会・情報交換等を計画的に実施する。
- ⑨ 義務教育9年間を連続した学習のスパンと捉え、また学習の基盤を形成する初期段階と考え、校種間の円滑な接続を図るため、小中合同の研修会、授業協力を定期的、計画的に実施する。また教科の系統性を踏まえた授業内容の充実を図り、指導案を小中協働で作成するなど、授業改善を進め、学力の向上を図る。
- ⑩ 開かれた学校づくり協議会や保護者と連携し、学校情報を積極的に発信するとともに、授業診断及び学校関係者評価等を実施し、教育活動の改善・充実を図る。さらに地域の教育力を活用した学校運営を推進させる。
- ⑪ 学校だよりや学年だよりの定期的な発行、ホームページの更新、学校だより、学年だより、ホームページの充実をとおして、積極的に学校の情報を保護者や地域に発信する。